

平成26年度生活環境部会活動報告

部会長 若 杉 勇

1 部会での活動

平成26年度生活環境部会は年度内に3回の会議と4回の東海市エコスクール実行委員会を開催しました。企画の内容についての検討やPR活動についてのあり方について検討を重ね、よりよい東海市エコスクール事業の実施に取り組めました。

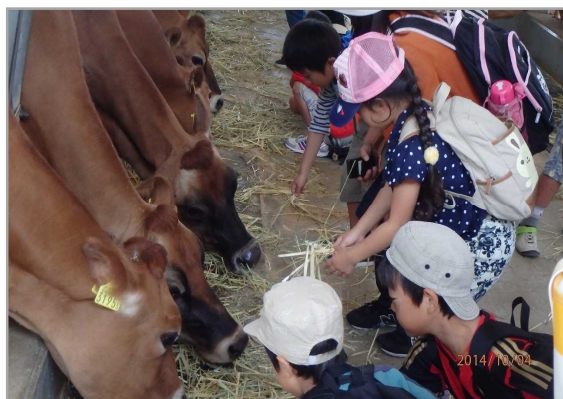
また、環境基本計画後期計画の見直しが実施されました。一部の指標は前回よりも高い水準に目標値を見直し、新しく目標値を設定し「未来につなぐ 美しいふるさと東海」へ向け取り組みを推進していきます。

2 実施事業

平成26年度東海市エコスクール 開催実績

- ① 事務局企画講座 10講座 関連企画講座 14講座
- ② 公募企画講座 2講座 保育園共同講座 3講座
- ③ 参加人数総合計 1,185人

3 講座の様子



「自然と動物と人とのつながりについて考えよう」
伊賀の里モクモク手作りファームにて、子供たちが、ジャージー牛にエサやり体験をしている様子



「親子エコ・クッキング教室」
しあわせ村調理実習室にて、講師から説明を受け、親子で協力して調理している様子

4 振り返り

東海市エコスクールは、同実行委員会が企画した事務局講座や他課が行う関連講座、一般からの応募で行う公募講座の3つから成り立っており、平成26年度は、29講座(うち1講座中止を含む)、1,185人の参加がありました。平成25年度の964人より約200人参加者が増え、好調に推移しております。

今回、市内で活躍されている東邦ガス株式会社と共催で「人間の暮らしと資源の共存について考えよう」、「親子エコ・クッキング教室」の2講座を新たに開催しました。今後期待される資源であるメタンハイドレートについてや、毎日の生活に身近な料理をテーマにエネルギーの節約について考え、地球温暖化防止に関心を持ってもらう講座になっており、参加者のみなさんから大変好評をいただきました。今後も市内の事業所と協力し、楽しく環境について学べる講座を開催したいと考えております。

東海市エコスクールの講座の中で、公募講座は、毎年約3講座開催しております。しかし、新しい団体等からの応募が少なくなっている現状です。そこで、新しい団体等からの応募が増えるよう生活環境部会で問題点を洗い出し、その解決策について検討しました。議論の結果、より一層のPRをすべきとの結論に達しました。平成25年度より分かりやすいチラシを作成し、市内だけでなく市外の施設にもチラシを配布し、PR活動に注力しております。また、あいち環境学習プラザへ環境学習相談をさせていただき、講師の方を紹介してもらいました。今後、紹介していただいた講師の方、共催で開催した講師の方へ公募講座のPRをさせていただく予定をしております。

5 今後について

今後の課題としては、講座1つ1つの質の向上です。参加者から講座のアンケートをとっておりますが、環境問題への考え方について変わったかどうかの設問があり、多くの回答が「変わらない」、「わからない」となっております。今後、講座を通して、環境問題について関心を抱いてもらえるようキーワードを発信し、参加者の意見を求めて、環境問題について考えてもらえる時間を取りたいと考えております。

以上